

【簡易方位計の補足説明】

この度は、当社製品をお買い上げいただき有難うございました。

方位目盛り付きリング（簡易方位計）の使用方法につきまして説明いたします。

下記内容をご参照下さい。

〈方位目盛り付きリングの使い方〉

◆ 4時側のりゅうずを回すと方位目盛り付きリングが回転します。

時計を水平に保ち、時針を太陽の方向に向けると、時針と12時位置の間が南になります。

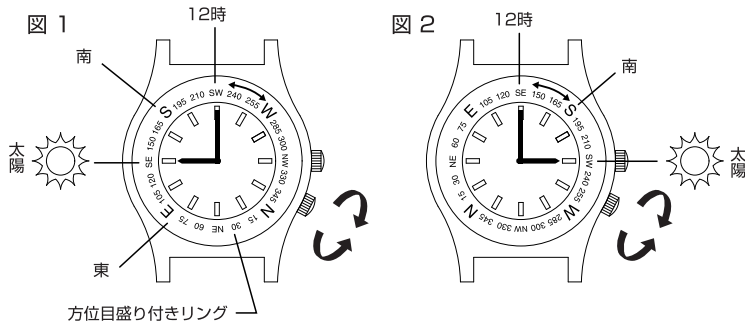
- ① 午前中は、12時位置を基点に「反時計まわりにある時針との中間の位置」が南となります。・・・図1参照
- ② 午後は、12時位置を基点に「時計まわりにある時針との中間の位置」が南となります。・・・図2参照
リングに東西南北(E,W,S,N,)の表示と15度毎の角度を数字で示しているので、方角がすぐにわかります。

〈使用上の注意〉

- ・ この機能は、北半球でのみ使用可能ですが、北回帰線より緯度の低い地域では、季節により利用できない場合があります。
- ・ 太陽の位置が確認出来る事が必要です。
- ・ 今いる場所の現在時刻に合っている事が必要です。
- ・ あくまでも簡易方位計であり、正確な方位を知るためのものではありません。

◆ 例： 午前9時に東の方角を知りたいとき・・・図1参照

- ① 時針を太陽の方向に向けます。
- ② 時針(9時)と12時位置の間が“南”になりますので、文字板の10時30分位置に方位目盛り付きリングの“S”を合わせます。
- ③ このとき、方位目盛り付きリングの“E”の示す方向(7時30分)が、“東”となります。



*モデルにより、りゅうず位置が異なるものがあります。